群馬県多文化共生・共創推進基本計画［概要］

基本情報

■計画策定の趣旨

条例に基づき、多文化共生・共創社会の実現を目指す施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するものです。

■計画の位置付け

・「群馬県多文化共生・共創推進条例」及び「新・群馬県総合計画」に基づく個別基本計画
・「群馬県多文化共生推進指針」、多文化共生・共創「群馬モデル」の後継計画

■計画の期間

令和４年度～８年度（５年間）

■基本理念

国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等の関係を築こうとしながら、誰一人取り残されることなく、地域社会の構成員として共に生きるとともに、多様性を活かしつつ、文化及び経済において新たな価値を創造し、又は地域に活力をもたらす社会の実現

計画の構成

１部　総論
　　趣旨、位置付け、基本方針等
２部　目標と施策の方向
　　目標＞施策の方向＞具体的取組
３部　推進体制
　　各主体の体制、計画の進捗管理

計画体系

基本方針 ＞ 目標 ＞ 施策の方向

➡具体的な取組事業へ

基本方針Ⅰ【共生】安心して暮らし続けられる環境の整備
- 目標１　行政・生活情報の提供体制整備、相談体制の充実
  - (1)ICT等を活用した「伝わりやすい」情報提供
  - (2)相談体制の整備
- 目標２　日本語教育の推進、教育機会の確保
  - (1)日本語学習環境の充実
  - (2)外国人児童生徒等への学習支援
- 目標３　安全・安心かつ持続可能な暮らしの確保
  - (1)安全・安心な暮らしの確保
  - (2)災害時の支援体制の整備

基本方針Ⅱ【共創】新たな価値を創造する環境の整備
- 目標４　外国人材に魅力的な「働く場」づくりの支援
  - (1)事業者向け情報発信の充実
  - (2)外国人材受入事業者への支援
- 目標５　外国人材に選ばれる機会の創出
  - (1)海外・外国人材向け情報発信の充実
  - (2)マッチング支援
  - (3)留学生の就職支援
- 目標６　多様な多文化共創の推進
  - (1)外国人県民による起業・文化活動の支援

基本方針Ⅲ 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現
- 目標７　県民一人ひとりが主体的に取り組む機運の醸成
  - (1)多文化共生・共創の教育・啓発の推進
  - (2)外国人県民の地域社会への参画促進
- 目標８　県政への多様な意見の反映
  - (1)外国人県民とのネットワーク構築
  - (2)キーパーソン・支援団体等との協働

＜指標一覧＞

No.	項目	現状値		目標値		「目標」							
		数値（単位）	年度	数位（単位）	年度	1	2	3	4	5	6	7	8
1	「やさしい日本語」推進者等養成研修　受講者数（累計）	－	－	200人	2026	○	○	○					
2	行政・生活情報を提供する外国人キーパーソン等の登録数	82件	2021	100件	2026	○						○	○
3	日本語教育ボランティア登録者数	58人	2021	110人	2026		○	○					
4	個別の指導計画作成等の取組を行っている学校の割合	小学校82.5% 中学校85.2%	2020	小学校100% 中学校100%	2026		○						
5	災害時通訳ボランティア登録者数	49人	2021	100人	2026	○		○					
6	医療通訳ボランティア登録者数	86人	2021	121人	2026	○		○					
7	多文化共創カンパニー認証制度　情報発信数（累計）	－	－	140件	2026				○	○			
8	外国人材定着支援セミナー　参加者数（累計）	52人	2021	150人	2026				○	○			
9	外国人県民の起業相談件数	28件	2020	2020年度よりも増加	2026						○		
10	多文化共生に関する指針・計画を策定している市町村数	21市町村	2020	35市町村	2026							○	

＜参考指標＞

No.	項目	現状値		「目標」							
		数値（単位）	年度	1	2	3	4	5	6	7	8
1	ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター相談件数	1,768件	2020	○		○					
2	県民幸福度アンケート［項目：外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合った暮らし］について	49.1点/100点	2020							○	○

※毎年度の数値を把握し、社会情勢等を踏まえ、傾向を分析します。